

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

仙台市

（地域における現状・課題）

教員に関する働き方改革は重要な課題であり、部活動も大きな要因となっている。課題として、競技経験のない部活動を担当することによる業務負担や、部活動に係る時間外の勤務が挙げられる。

他県において実績のあるリーフラス株式会社と、生徒のスポーツ環境の整備と、教員の働き方改革の視点から本事業に取り組み、部活動の地域移行につなげていきたい。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：リーフラス株式会社

活動場所：仙台市立三条中学校、仙台市立根白石中学校

指導者：地域指導者

移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎

責任主体：リーフラス株式会社

活動種目：三条中(野球、バレーボール、バドミントン)・根白石中(野球、陸上)

会費等：500円/年

保険：78,270円/年（傷害・賠償責任保険）

（実践研究の成果）

指導者の練習の進め方や生徒への関わり方、及び生徒との関係性においては、90%前後の高い水準で満足度を示す結果となった。運営主体が指導者としての資質に重点を置いた採用を行ったことで、適正な指導につながったと考える。また、保護者においても、90%前後の保護者が「子どもが意欲的に地域部活動に参加している」と感じており、全体としての保護者満足度も高い結果となったが、練習内容の共有や今後の方針等についての共有を加えることで、更なる満足度の向上につながるを感じる。本事業を通しての教員の負担軽減という側面については、対象の教員6名全員が業務負担の軽減を感じる結果となっており、教員全員が「安心して任せることができ」「満足している」と感じていることから、地域部活動としての価値の創出につながるモデル事業となった。

（運営体制図）

